

認知症サポーター

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

○認知症サポーターの役割

1. 認知症に対して正しく理解し、偏見を持たない。
2. 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
3. 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。
4. 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携・ネットワークをつくる。
5. まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する。



まずは、認知症サポーターから始めよう！

本町では、地域住民、小中学校や企業で認知症サポーターの養成を推進し、地域でも幅広い年齢層の認知症サポーターが活躍しています。

認知症サポーター養成講座は、地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、学生など様々な人に受講していただいています。

府中町版チームオレンジ

BLANKETプロジェクト

